

タイトル：2021年度 教育セミナー（第17回）

日時：2021年9月16日（木）～19日（日）

オンライン開催

ポスター発表

「アラブ型資源管理制度「ヒマー」が注目される要因」

中鉢 夏輝（京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科）

今年度の教育セミナーは新型コロナウイルスの感染拡大により、前年度と同様オンライン開催となりました。オンラインにもかかわらず、先生方による講義や、受講生による研究発表、情報交換会など、すべてが刺激的な内容であったため、本セミナーに非常に満足しています。以下二点、セミナー参加後の所感を共有します。

一つ目は、「中東・イスラーム」軸に集まった様々な学問領域・時代・地域の専門家や学生と議論することで、自分の研究を見直す機会を得られたことです。本セミナーの参加者の専門分野は歴史学や宗教社会学、イスラーム金融などと多岐にわたり、専門地域も西アジア・北アフリカから中央アジア、東南アジアと広範囲に広がっています。そのため、講義や受講生報告に対する質問の着眼点は様々で、そこから展開される議論も建設的なものが多かったです。また、時には先生方や受講生が中東・イスラームに出会うきっかけや、いまの研究に至る経緯などを聞く機会もありました。四日間、そうした目新しい議論や経験談を追っていくと、自分が知っているつもりの中東・イスラーム世界も新しく見えてきました。それと同時に、中東・イスラーム地域研究を学び始めたてのころの、新しい世界やアプローチを次々と発見するときの昂揚感、好奇心を思い出しました。普段の大学院での授業やゼミ活動では、研究分野の近い者や自分の研究を聞きなれた者と話すことが多いので、自分の研究内容も、中東・イスラームに対する認識もマンネリ化していました。それを乗り越えるうえでも、教育セミナーの役割は非常に大きいものだったと考えています。

二つ目は、ポスター発表について、発表内容を限られた時間と紙幅で伝えることの難しさを実感できた点です。私は「イスラームと環境」という大きな関心のもとで研究を進めており、修士論文では現代イスラーム世界における自然保護について執筆予定です。ポスター発表ではアラビア半島における「ヒマー」という資源管理制度を扱いました。ポスター・セッションでは、私は概要説明約一分とその後の質疑応答約十分を二回行いました。中東・イスラーム地域研究のなかでは稀な研究テーマであることや、自分の説明力不足もあり、発表に際していただいた質問には十分にお答えできなかったかもしれません。しかし、発表を通じて、説明の書き方や順序といった形式的な面での改善点が見つかったこと、そしていただいたコメント等から多くの課題を発見できたことから、結果的には今後の研究活動に繋がる

有意義な経験であったと感じています。

総じて、オンラインでのセミナー開催となりましたが、特段の不便も感じず、非常に有意義な四日間を過ごすことができました。これもすべて、企画運営にあたってくださった FSC 事務局の千葉さまをはじめとする AA 研スタッフの皆さまの多大なるご尽力のおかげです。深く感謝を申し上げます。